

水源の森と八竜湿地 講演会

八竜湿地の現在の植生の状態や希少植物、その保全についてお話します。



参加者募集
30名 無料

【日時】 令和6年3月2日(土)
11:00～12:00 受付10:45

【会場】 金城学院大学
16 W2棟 3階 302講義室

【講師】 長谷川 泰洋 氏
名古屋産業大学 准教授
なごや生物多様性保全活動協議会 会長



【申込方法】 Eメールhigashiyama_tc@nga.or.jp または、
fax052-832-1335、下記の項目記入の上、お申込下さい。

件名：水源の森と八竜湿地講演会申込

①参加者氏名 ②年齢 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス

※1通で5名まで応募可能 ※応募者多数の場合は抽選

【申込締切】 令和6年2月16日(金)

【問合せ先】 (公財)名古屋市みどりの協会 みどりの事業課

☎052-731-8590(月～金9:00～16:30) 開催日090-6332-2374

【主催】 水源の森と八竜湿地を守る会、名古屋市、(公財)名古屋市みどりの協会

八竜湿地について



ヒメタイコウチ

●概要

八竜緑地は、アカマツ林とコナラ林を中心とした樹林地で湿地とため池を有しており、周囲と合わせて特別緑地保全地区に指定されています。主要な2か所の湿地には管理フェンスと観察道を設置し湿地の環境を保護しています。フェンス内の湿地は春と秋の観察会で散策することができます。

●特徴

八竜緑地の湿地の特徴は、丘陵の礫層からの湧水によって緩斜面に形成された東海地方特有の湿地に「トウカイコモウセンゴケ」などの食虫植物の群落が存在することです。また、シデコブシ・マメナシ・シラタマホシクサなど東海地方固有の植物も生育しています。



シラタマホシクサ

●市民活動

この貴重な湿地や樹林地を維持するためには、間伐や笹刈り・外来種の除去など日々の手入れが必要です。市民活動団体「水源の森と八竜湿地を守る会」は名古屋市との協働で緑地の維持管理を行っています。

八竜緑地からのお願い 散策される方へ

八竜湿地は、栄養分の乏しい湧き水によって、東海地方固有の貴重な植物が生育しています。その湿地内で犬等が排便・排尿をしますと、土地が富栄養化し他の植物が侵入して植生が変化してしまう可能性があります。つきましては、湿地周辺の木道付近でのペットの排便・排尿は、特に湿地の植物等に影響を与えられますので、ご遠慮くださいますようお願いいたします。

また、八竜緑地を良好な状態に保つため、以下の事柄も重ねてお願いいたします。

- ◇緑地の生物を採取しないでください
- ◇生態系保護のため生物を持ち込まないでください
- ◇木道を外れて湿地林内に入らないでください
- ◇火気厳禁 タバコはご遠慮ください



ミナミコモリグモ